

シンポジウム

# 中世社会と烏帽子形城

河内長野市には、中世の山城である烏帽子形城跡が残されています。この城は応仁の乱以降に畿内でくりかえされた内乱の舞台として歴史に何度も登場します。特に、分裂した河内守護畠山氏の激闘、豊臣秀吉による紀伊根来衆攻めでは戦略上の重要拠点となりました。また、キリシタン大名が城を守ったことが宣教師ルイス・フロイスの『日本史』にも記述されています。今回の講座では、中世社会がどのようなものであったのかを踏まえて烏帽子形城の歴史的意味を考えます。

開催日：平成22年9月4日（土）

午後2時～午後5時 ※開場は午後1時30分

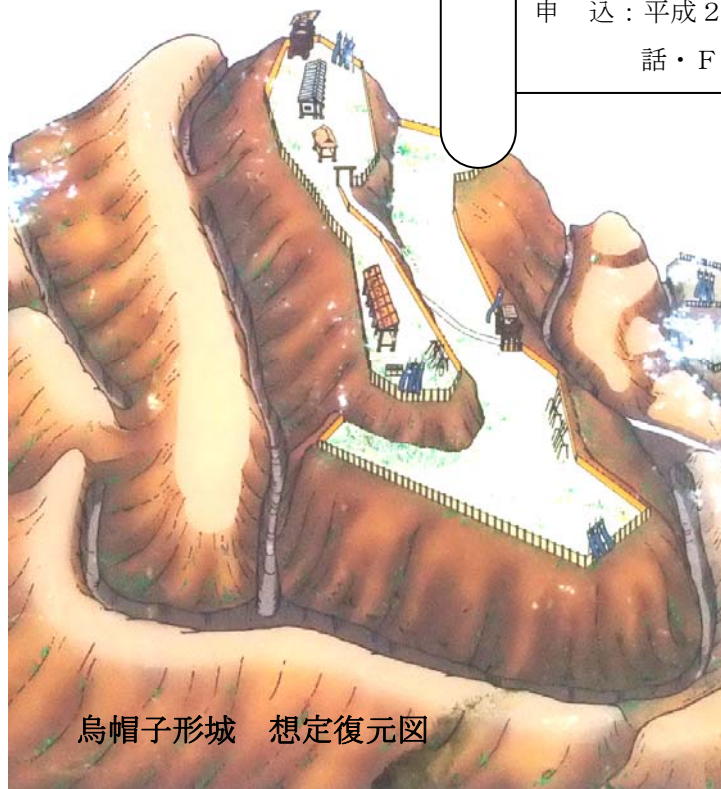
内容：烏帽子形城跡に関する講演とシンポジウム

開場：河内長野市立市民交流センター（キックス）

4階イベントホール（場所 裏面地図）

対象者：150名 受講料：無料

申込：平成22年8月5日（木）から8月18日（水）の間に下記まで電話・FAXで申し込み（先着順）。



烏帽子形城 想定復元図

## 会場へのアクセス

- ・近鉄南大阪線、南海高野線「河内長野駅」から  
南海バス「市民交流センター前」（8分）下車すぐ

主催：河内長野市教育委員会  
三日市地区高野街道再生プロジェクト

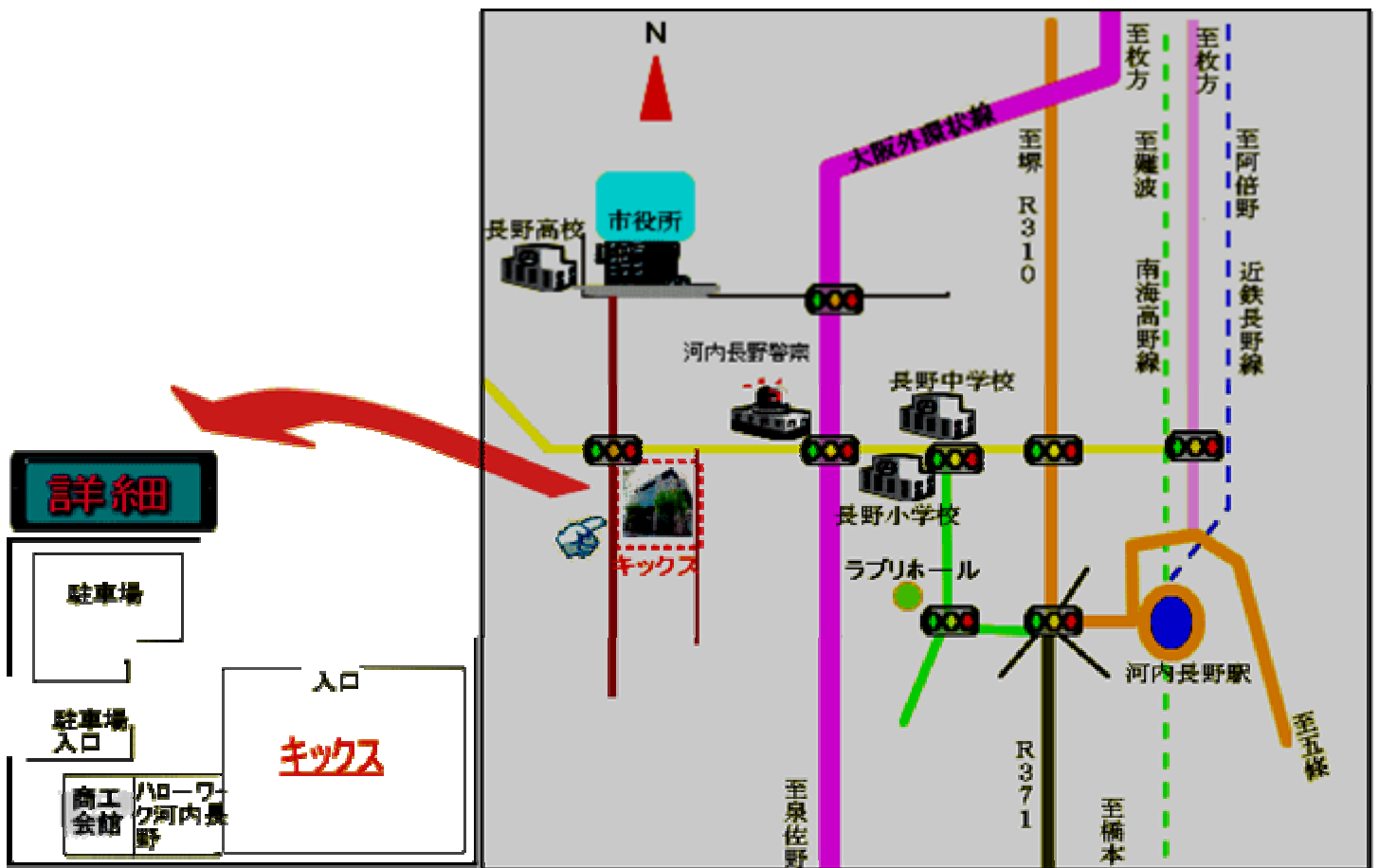
お申し込み先：河内長野市教育委員会 生涯学習部 ふるさと文化課  
河内長野市原町一丁目1番1号

TEL：0721-53-1111（内線751） FAX：0721-53-1198

## 開催プログラム

13:30	開場
14:00～14:05	開会（総合司会：本市職員）
14:05～14:20	報告：烏帽子形城の概要と発掘調査成果 講師：河内長野市教育委員会職員
14:20～15:00	講演1：古記録からみた烏帽子形城跡 講師：堀内和明氏 （河内長野市文化財専門委員会委員）
15:00～15:50	講演2：考古学からみた中世 ～村落遺跡をとらえて～ 講師：広瀬和雄氏 （国立歴史民俗博物館教授）
15:50～16:00	（休憩）
16:00～17:00	シンポジウム「中世社会と烏帽子形城」 司会：河内長野市職員 パネラー：広瀬和雄氏・堀内和明氏 調査担当者（本市職員）

河内長野駅から会場（河内長野市立市民交流センター（キックス））までの地図



※駐車場（2時間まで無料、以後30分ごとに100円）には限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用下さい。